

高校世界史プリント（過去問類似）

古代（諸地域世界の形成） No.6

名前

得点

/11

問1 前5世紀のギリシアにおいて、民主政が最盛期を迎えたアテネでは、民会や裁判の場で自らの主張を説得力をもって述べる技術が重視された。このような社会的需要を背景に登場し、市民から謝礼を受け取って弁論術などの実用的な知識を教え、普遍的な真理を否定して相対主義的な立場をとった、プロタゴラスに代表される職業教師たちの呼称として最も適当なものを答えよ。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. エピクロス 2. ソクラテス 3. ピタゴラス 4. ソフィスト

問2 古代インドにおいて、従来のバラモン教が土着の信仰と融合して成立した多神教において、世界の「破壊」と「創造（再生）」を司るとされ、ヴィシュヌやブラフマーと並んで広く信仰を集めた主神の名称を何というか。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. ラーマ 2. アグニ 3. ルドラ 4. シヴァ

問3 第2回ポエニ戦争において、イタリア半島を席卷したカルタゴの名将ハンニバルに対抗するため、敵の本拠地である北アフリカへの遠征を敢行し、前202年の決戦でハンニバルを破ってローマを勝利に導いた将軍は誰か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. マリウス 2. スキピオ 3. スッラ 4. カエサル

問4 古代インドの社会制度において、農業、牧畜、商業などの生産活動に従事し、納税の義務を負った庶民階層を指す身分を何というか。 (2017年 全国公立入試 類似)

1. バラモン 2. シュードラ 3. クシャトリア 4. ヴアイシャ

問5 2世紀末にチャム人がベトナム中部に建国し、中国の史書では林邑や環王、占城などと記され、ヒンドゥー教などのインド文化を強く受容しながら海上交易で繁栄した国家は何か。 (2017年 全国公立入試 類似)

1. シンガサリ 2. スコータイ 3. チャンパー 4. ランサーン

問6 前2千年紀にパンジャーブ地方に定住したアーリヤ人は、自然現象に神性を認めて崇拝した。彼らが神々に捧げた讃歌や儀礼をまとめた、のちのバラモン教の聖典の総称を何というか。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. ウパニシャッド 2. ヴェーダ 3. ブラーフマナ 4. スートラ

問7 紀元前3世紀末にモンゴル高原の遊牧国家を率いて強大化し、東方の東胡や西方の月氏を破ったほか、中国を統一したばかりの前漢の軍勢を白登山の戦いで破って優位に立った、この遊牧国家の君主は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 郅支単于 2. 冒頓単于 3. 頡利可汗 4. 毗伽可汗

問8 秦の滅亡後、楚の霸王を自称した項羽との激しい争いを勝ち抜き、紀元前202年に中国を統一して新たな王朝をひらき、長安を都と定めた人物は誰か。 (2009年 全国公立入試 類似)

1. 劉秀 2. 劉邦 3. 曹丕 4. 楊堅

問9 中国の春秋戦国時代において、諸侯が富国強兵を競う中で、儒家や法家などの多様な思想家たちが現れて自説を売り込んだ。この背景となった、農業生産力を飛躍的に向上させ、社会構造の変動をもたらした技術的要因として最も適当なものは何か。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. 灌漑施設の整備 2. 鉄製農具の使用 3. 牛耕農業の導入 4. 牛耕技術の普及

問10 古代エジプト文明において、定期的な氾濫が肥沃な土壌をもたらし、農業の発展を支えた。この氾濫の周期を知る必要性から天文学や太陽暦が発達することとなったが、この文明の母体となった大河は何か。 (2016年 全国公立入試 類似)

1. ティグリス川 2. ユーフラテス川 3. ナイル川 4. インダス川

問11 イギリスの考古学者によって発掘され、壮大な宮殿跡や複雑な構造からギリシア神話の迷宮（ラビリンス）の伝説の起源になったとされる、エーゲ海南部の島に位置する代表的な遺跡は何か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. ミケーネ 2. トロイア 3. クノッソス 4. ティリンズ

答え合わせ・解説 No.6

| | | |
|-----|-----------------|--|
| 問1 | 答え 4 ソフィスト | 前5世紀のアテネでは民主政が発達し、民会や裁判の場で自らの主張を通すための弁論術が重視された。これに伴い、謝礼を受け取って市民に弁論術や修辞学などの実用的な知識を教える職業教師たちが活躍した。彼らは絶対的な真理を否定し、個人の主観を重視する相対主義的な立場をとった。代表的な人物として「人間は万物の尺度である」と言葉を残したプロタゴラスが知られている。 |
| 問2 | 答え 4 シヴァ | グプタ朝の時代に、従来のバラモン教に民間信仰や先住民の信仰が融合してヒンドゥー教が確立した。ヒンドゥー教では多くの神々が崇拝されたが、その中でも世界の創造を司るブラフマー、維持を司るヴィシュヌ、そして破壊と再生を司るこの神が三大神（主神）として特に重視され、民衆の間で広く信仰を集めた。 |
| 問3 | 答え 2 スキピオ | カンネーの戦いなどでローマを窮地に陥れたカルタゴのハンニバルに対し、ローマの将軍スキピオはカルタゴの本国がある北アフリカへ遠征した。これによりハンニバルをイタリア半島から撤退させ、前202年のザマの戦いで彼を破った。この功績により、彼は「アフリカヌス」の称号を得た。 |
| 問4 | 答え 4 ヴァイシャ | アーリア人のインド定住の過程で形成された4つの身分（ヴァルナ）のうち、第3位に位置づけられる庶民階層である。農業や商業などの実業を担い、納税義務を負った。第1位はバラモン（司祭）、第2位はクシャトリア（武士・王族）、第4位はシュードラ（隷属民）である。 |
| 問5 | 答え 3 チャンパー | 2世紀末にベトナム中部に成立したこの国家は、中国の史書において林邑（りんゆう）や環王（かんおう）、占城（せんじょう）などと称された。インド文化（ヒンドゥー教やサンスクリット語など）を強く受容し、海上交易の要衝として栄えた。ジャワ島のマタラム王国などは異なり、ベトナム中部の沿岸部に位置していた。 |
| 問6 | 答え 2 ヴェーダ | アーリア人は自然現象を神格化し、これらを崇拝した。彼らが神々への讃歌や儀礼をまとめた聖典の総称がヴェーダであり、その中で最も古いものが『リグ・ヴェーダ』である。ヴェーダを聖典とする宗教はバラモン教と呼ばれ、のちのヒンドゥー教の源流となった。 |
| 問7 | 答え 2 冒頓単于 | 紀元前3世紀末に即位した匈奴の冒頓単于は、モンゴル高原を統一し、西方の月氏を破って敦煌付近から駆逐した。さらに、前漢の初代皇帝である高祖（劉邦）の軍を白登山の戦いで包囲し、漢に対して貢納を約束させるなど、圧倒的な優位に立った。 |
| 問8 | 答え 2 劉邦 | 秦末の混乱期において、農民出身の指導者であった人物が、名門出身の項羽との楚漢戦争に勝利し、前漢を建国した。都は長安に置かれ、郡国制を採用するなどして統治の安定を図った。 |
| 問9 | 答え 2 鉄製農具の使用 | 春秋戦国時代には、青銅器に代わって鉄製農具が普及し、あわせて牛耕が開始されたことで、農業生産力が飛躍的に向上した。これにより従来の共同体的な絆が緩み、個々の家族による農業経営が可能になるとともに、諸侯による富国強兵策を支える経済的基盤が形成され、諸子百家と呼ばれる思想家たちが活躍する背景となった。 |
| 問10 | 答え 3 ナイル川 | 古代ギリシアの歴史家ヘロドトスが「エジプトはナイルのたまもの」と評したように、古代エジプト文明はナイル川の定期的な氾濫がもたらす肥沃な土壌を基盤として成立した。この氾濫時期を正確に予測するために天文学が発達し、太陽暦が誕生した。 |
| 問11 | 答え 3 クノッソス | クレタ島北部に位置するこの遺跡は、クレタ文明（ミノア文明）の中心地であった。1900年からイギリスのエヴァンズによって発掘され、多くの部屋が複雑に入り組んだ大宮殿の跡が発見された。この複雑な構造が、怪物ミノタウロスを閉じ込めた迷宮伝説の背景になったと考えられている。 |